

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第3回枚方市立伊加賀スポーツセンター教育委員会指定管理者選定委員会
開 催 日 時	平成30年10月16日(火) 午後6時00分から午後8時00分まで
開 催 場 所	市役所別館4階 特別会議室
出 席 者	会 長：相模 太朗委員 副会長：服部 純子委員、 委 員：高見 彰委員、梅垣 明美委員、松永 敬子委員
欠 席 者	なし
案 件 名	(1)プレゼンテーションについて (2)採点について (3)その他
提出された資料等の 名 称	<span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">資料 17</span> 採点表 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">資料 18</span> 評価コメント記入用紙 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">参考資料 1</span> 進行予定表 <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">参考資料 2</span> 指定管理者選定基準に係る補足説明資料
決 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請団体（4団体）の提案内容に対する採点及び評価コメントを10月22日までに事務局に提出する旨を決定。</li> <li>・評価コメント等については、事務局で取りまとめ、11月5日開催の第4回委員会に提出する。</li> </ul>
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	非公開 ・枚方市情報公開条例第5条第(6)号の規定による非公開情報が含まれる事項について審議等を行うため。
会議録等の公表、非公表 の別及び非公表の理由	本委員会の答申後に公表
傍 聴 者 の 数	—
所管部署（事務局）	社会教育部 スポーツ振興課

## 審 議 内 容

(開会 午後6時)

**(会長)** それでは、ただいまから、第3回枚方市立伊加賀スポーツセンター教育委員会指定管理者選定委員会を開会します。尚、今回、応募団体が多数となったため、第3回枚方市立市民体育館指定管理者選定委員会を10月23日(火)に、第3回枚方市立総合スポーツセンター指定管理者選定委員会を10月30日(火)に開催させていただき、第4回選定委員会につきましては、11月5日(月)に3施設合わせて開催といたします。

まず、事務局から、委員の出席状況と本日の進め方等について説明をお願いします。

**(事務局)** 本日の出席委員は5名で、委員全員のご出席をいただいております。よって、会議として成立していることを報告させていただきます。

それでは、次に、資料の確認をさせていただきます。

本日お配りしておりますのが、委員会の次第を記した次第書と、**資料17**採点表、また、**資料18**評価コメント記入用紙でございます。

それから、**参考資料1**として、本日のプレゼンテーションの進行予定を記載したものと、**参考資料2**として、前回の会議でお配りしたものと同一資料となりますが、「資料6 指定管理者選定基準に係る補足説明資料」でございます。

資料としては以上ですが、その他、申請団体の申請書一式の写しや採点メモ等につきましてそれぞれお手元でございますでしょうか。

なお、本日は、前回、10月1日(月)の委員会でご決定いただきましたとおり、申請団体のプレゼンテーション、また、採点に関する確認等、必要な審議を行っていただく予定をしております。

説明は以上でございます。

**(会長)** ただいまの事務局からの説明について、委員の皆さんから何かご質問、ご意見等はありませんか。

(「なし」の声)

### 案件(1) プレゼンテーションについて

**(会長)** それでは、次に移ります。

案件(1)「プレゼンテーションについて」を議題とします。

プレゼンテーションに入ります前に、まず、申請団体の事業計画の提案内容と枚方市立伊加賀スポーツセンターに係る確認事項に関して、評価への観点や考え方等、共有すべき認識などについて、ご協議いただきたいと思います。

事務局から、まず採点方法について説明をお願いします。

**(事務局)** それでは、ご説明します。前回の委員会においてご確認いただいた内容とも重複しますが、ご了承の程、お願いいたします。

審査においては、前回お持ち帰りいただきました採点メモ、これは参考資料としてお配りした資料でございますが、これもご活用いただきながら、委員ごとに、**資料17**の採点表に、AからEまでの5段階でご記入、ご採点いただくものでございます。

指定候補者の選定における内容審査は、申請団体から提出のあった事業計画書が、本市が求める確認事項を満たしているかをご確認いただくとともに、加点事項に該当するかをご判断いただき、A評価からE評価として採点いただくものです。

評価につきましては、お手元にお配りしております**参考資料2**「資料6 指定管理者選定基準に係る補足説明資料」をご参照いただければと存じます。

なお、本日のプレゼンテーションにおいては、「採点メモ」もご活用いただきながら、確認事項や加点事項に関して、申請団体の事業計画書等の書面からは読み取れない部分などに

ついて、ご確認いただければと考えております。

最後に、**資料 18**の評価コメント記入用紙について、ご説明いたします。

これは、今回の指定候補者選定において申請団体の採点・評価を行っていただくに際し、その申請団体に関してよかった点、よくなかった点などの評価理由についてご記入いただくものでございます。

最終的には、委員 5 名の採点結果と指定管理料の額による点数を合計した総合評価の点数と合わせて、各委員にご記入いただいたものを一本化した評価コメントを議会等に公表していくこととしております。

なお、11 月 5 日（月）の第 4 回目の委員会において、採点結果の集計及び一本化したコメント案をご提示させていただく予定をしております。

説明は以上でございます。

**(会長)** ただいまの説明に対して、委員の皆さんからご質問、ご意見はないでしょうか。

（「なし」の声）

**(会長)** よろしいですか。それでは、次に、プレゼンテーションを実施する前に、申請団体の事業計画の内容や、採点に関して委員の皆様の間で共有しておくべき事項等について、委員の皆さんからご意見はございませんか。

（「なし」の声）

**(会長)** よろしいですか。それでは、準備がよければプレゼンテーションを実施したいと思えます。事務局で申請団体の誘導をお願いします。

#### （申請団体① 入場・準備）

**(事務局)** それでは、ただいまから、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは、初めに団体名及びプレゼンテーションをされる方のお名前を述べてから始めてください。

なお、プレゼンテーションの時間は 10 分間でございます。終了 1 分前になりましたらベルでお知らせし、所定の 10 分になり次第、終了とさせていただきますので、ご了承ください。

なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き、委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。

では準備はよろしいでしょうか。それでは、始めてください。

#### 〔申請団体①の出席者、自己紹介〕

**(申請団体①)** それでは、申請書及び事業計画のご説明に入らせていただきます。本日はお伝えしたいことを 3 つに絞り、ご説明させていただきます。まず、1 点目は、「経営の継続性・安定性」になります。申請書類の様式第 2 号、事業計画書の 11 ページをご覧ください。

シンコースポーツ株式会社は昭和 53 年 11 月に創業して以来、公共スポーツ施設の管理・運営に特化した企業です。平成 17 年度の指定管理者制度導入以来、いち早くこれまでの委託業務から指定管理業務に移行させ、数多くの施設を管理させていただいております。

売上高も平成 28 年度期以降はグループ全体で 100 億円を超えております。

指定管理受託実績といたしましては、グループ全体では 94 自治体、321 施設の実績を有し、4 月現在では全国 276 施設の管理・運営を行っております。

次に、14 ページをご覧ください。構成企業である日本管財株式会社は、昭和 40 年の設立以降、約半世紀に渡り関西に基盤を置いて、法令を遵守した適切な維持管理を行ってきました。また、東証 1 部に上場する国内有数のビル管理企業でございます。業務内容は多岐に渡っており、どのような設備トラブルに関しても適切な対応を行うことが可能です。代表企業と同様、指定管理施設を含めた数多くの建物管理の実績を有しており、維持管理業務、省エネ対策等による建物のライフサイクルコストの低減に寄与するとともに、抜群の財務体質

により5年間の安定した運営を保証します。

私たち2社が指定管理者として施設の管理運営を行うことで、施設の維持管理においてより強固な体制を構築することができ、安心、安全で快適な環境づくりをお約束できると考えております。

次に2点目は、施設運営に関する計画、収支計画、駐車料金に関する計画についてご説明いたします。事業計画書 20 ページをご覧ください。当グループは指定管理者として施設の管理運営を進めるにあたり、本制度の導入目的である施設利用率の向上、利用者数の増加等を達成目標とする一方で、経費の削減を図り、市の負担を軽減することを求められるということをご理解しております。また、当施設の現状やシンコースポーツが管理する同規模施設での状況を踏まえながら、新たなサービスの提供にかかる部分には、それ相応の経費を見積もるなど、高品質を担保し適切な金額の算出をしております。その結果、指定管理上限額から 495 万円削減した計画となりました。

次に、利用者の方が最も心配されている駐車場有料化ですが、当グループは施設駐車場料金設定において利用者の負担を最小限に抑えることを第1に考え、料金の設定を行いました。高額な料金設定を行った場合、利用者への不満・クレームなどの発生につながり、施設の設置目的に反することになると考えております。

事業計画書の 22 ページをご覧ください。当グループでは、施設利用者に対しては1時間無料措置を行います。3時間を超過した場合においても最大料金 400 円を設定し、それ以上の駐車料金の徴収はいたしません。施設利用者以外の駐車料金については、5時間を超過した場合、最大の料金の 1,000 円が適用されます。駐車場運営管理業務につきましては、多数の自治体・公共施設駐車場の管理運営実績のある、タイムズ 24 株式会社を協力企業として、共に施設の駐車場運営管理を行ってまいります。

また、カーシェアリングの導入についても、枚方市担当課と協議を行い、導入していきたいと考えております。

次に3点目、利用者サービスを維持・向上させる具体的な取組みについてご説明いたします。事業計画書 52 ページをご覧ください。ラウンドフィットネストレーニング器具の設置について、当施設における多目的室の空き区分の有効活用として、ラウンドフィットネスという負荷の軽いトレーニング器具を導入いたします。筋力運動と有酸素運動を 30 秒間交互に繰り返すことで、シェイプアップ、筋力アップ等の運動効果が得られます。ラウンドフィットネスは時間を有効に使いたい主婦層や、高齢者に大変人気のあるトレーニングです。また、介護予防事業での高齢者筋力向上トレーニング等の実施場所として指導を含め対応が可能です。

次に 55 ページをご覧ください。続きまして、ボルダリングコーナーの開設です。当施設により多くの利用者をお呼び込むため、体育館舞台上などを利用し、本格的なボルダリングコーナーを設置し教室展開を行います。東京オリンピック正式種目であるスポーツクライミングは一部の愛好家だけではなく、非常に多くの人々に楽しまれており、近年最も注目されているスポーツの一つです。

次に 56 ページをご覧ください。イベント事業では株式会社よしもとクリエイティブエージェンシーと連携し、「ふれあい運動会」を年に1回開催します。普段、外出の少ない高齢者層や地域の子どもの対象に、よしもと芸人、タレント、所属アスリートと一緒に運動することで、他世代の交流の場を創出します。当グループの計画している事業計画に対して、株式会社よしもとクリエイティブエージェンシーより、関心表明書をいただいております。

次に館内照明 LED 化についてご提案いたします。「水銀に関する水俣条約」の批准により、2020 年以降、一定の水銀量を含むランプは原則として製造されなくなる見込みです。当グループでは、初期コストを一切かけずにレンタルでの導入をご提案いたします。詳しくは事業計画書 56 ページ、57 ページをご覧ください。LED 導入により電気代が大きくなるため、月々のレンタル料を含めても現在の電気代の範囲内で導入が可能です。当施設のシミュレーション

結果では、レンタル料を差し引いても年間 120 万円の削減ができる見込みです。弊社が指定管理者として選定されましたら再度調査を行い、枚方市担当課と協議し導入に向けて進めてまいります。

最後、まとめになりますが、当社はLED導入と独自のスポーツコンテンツにより、明るさと賑わいを創出させ、伊加賀スポーツセンターと市民に新たなスポーツ振興の光を照らします。以上をもちまして、プレゼンテーションを終わらせていただきます。貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。

**(会長)** ありがとうございました。それでは、私ども委員の方からプレゼンテーションの内容及び事業計画について、いくつか質問させていただきますので、よろしくお願いします。

委員の皆様、ご自由をお願いします。

**(B委員)** 御社が全国で指定管理を受けておられる他の施設がありますが、この伊加賀スポーツセンターと同等の施設を管理運営されているとすると、どの辺りの施設ですか。また、そこで起きている色々な問題やクレーム等、運営していく上で利用者の満足度をモニタリングされていると思いますが、それに対してどういった対応を具体的にされているのかお尋ねします。

**(申請団体①)** 同等の施設としては大阪府の堺市にある家原大池体育館で、体育館とトレーニング室の管理運営をしております。その中でクレーム等という形では、施設のご意見箱を設置させていただいておりますので、随時の声であったり、利用者からの要望を聞かせてもらい、年1回モニタリングとしてアンケートを実施させていただき、利用者の要望に対する改善点などを回答として掲示しています。

**(B委員)** 差し支えなければ、具体的にどういったクレームが多いですか。

**(申請団体①)** 体育館に多いのは、トレーニングルームが午前中に混雑しており、マシンの台数に限りがあることで利用者が使えない、時間帯によって待たなければならないといったことがあります。

**(B委員)** 具体的にどういう対応をされていますか。

**(申請団体①)** 有酸素運動のマシンであれば通常 30 分使えるところを、20 分に短縮してご利用いただけるよう協力を求め、譲り合って使っていただいています。その他にも空きスペースでルームエクササイズを行うなど、スペースを有効活用することで、うまくマシンを循環させるような工夫を行っています。

また、施設利用者へのアンケートによるモニタリングの実施と、普段使っていない方の利用につながるようモニタリングとして、ミステリーショッピングリサーチ（覆面調査）を外部に依頼して実施しています。トレーニングジムに関しては、伊加賀スポーツセンターはトレーニング指導員の常駐配置は募集要項に記載はありませんが、弊社の場合はそのトラブルを回避するために1名の常駐トレーニング指導員の配置を計画しています。

**(A委員)** 人件費についてお伺いします。41 ページの1日の勤務シフトと、収支予算書を見比べていただきたいのですが、41 ページの統括責任者1名に対して、副責任者2名体制の形となっていますが、提出いただいた収支予算書の人件費のところの正規職員の欄では、「統括責任者1名、副責任者1名、受付責任者1名」で人件費を積算されています。この41 ページの副責任者2名体制と収支予算書に不一致がありますので、説明してください。

**(申請団体①)** 主に、副責任者はトレーニングチーフ1名との兼務を考えており、トレーニングジムに入らない場合は副責任者としてのポジションと考えております。よって3名のポジションで常に副責任者がいる場合と、トレーニングジムに入る場合と異なっています。

**(A委員)** 理解できないのですが、収支予算書の副責任者が1名体制になっておりますが、2名体制の誤りということですか。

**(申請団体①)** 収支予算書の1名が誤記載で、正しくは2名となります。

**(A委員)** では、収支予算書で提示する金額に変更はないということですね。

(申請団体①) 変更ありません。単に1名が2名の誤記載です。

(会長) 当然ですが、指定管理料に変更はないということですね。

(申請団体①) はい。変更ありません。

(会長) 他に何かありませんか。

(C委員) 広報活動についてお聞きします。事業計画 58 ページで詳しく広報活動について記載がありますが、事前の分析で枚方市のスポーツ実施率が低い層があると指摘されています。具体的に例えば現在スポーツ施設を知らない、知ってるが利用していないところの数字を上げていきたいと枚方市は思っていると思いますが、それに対して LEVEL II の枚方市内の広報が、今までとあまり変わらない感じがします。今まで施設を使っていない、あるいはよく理解されていない方への広報についてもう少し補足をお願いします。

(申請団体①) 広報ひらかた、地域の情報誌等で提供させていただくことを考えています。それ以外に、LEVEL II だけでは足りない部分を LEVEL III で自社ホームページ、フェイスブック、インスタグラムなどで写真を活用して施設の情報の提供をさせていただきたいと考えております。高齢者の方や SNS を使わない方に対しては、地域に密着した広報誌をもっと探しまして、広報掲載をさせていただきたいとは考えております。

(C委員) 現状を調べられているとは思いますが、結構ページを割いて細かく書いていただいております。これが一番というのは何かありますか。

(申請団体①) 今課題というのが、日本管財が病院関係の設備管理をされており、枚方市内の市立ひらかた病院に対してアプローチして、実際病院に来ている方に対してスポーツセンターではこういった事業をやっているよ、健康増進のためこんな事業をやっているよといったことを PR していただくという話は挙がっております。一度お話はさせていただきまして、関心表明は今の段階では中々いただけないのですが、当グループが受託した際には、連携くださいということで担当の方とは話をしていますので、実際、当グループの方が決定した場合にはそういう話をシンコースポーツを中心にやっていきたい、貢献できたらと思っています。

(C委員) ぜひ、そういったところをしていただけたら。

(申請団体①) 市立ひらかた病院以外でも、そういった医療機関をうまく使って、健康増進を含めて施設の広報活動に取り組んでいきたいと思えますし、子どもに対しても、遊ぶところが非常に少ないので、伊加賀スポーツセンターにボルダリング等を導入できれば、より子どもの居場所づくりにいいかなと思っています。

(C委員) わかりました。丁寧に書いていただいているのですが、例えば SNS については、どこでも書かれると思いますが、インスタグラムだったらインスタ映えするような内容がないと、ちょっとストーリーが繋がらなかったのも、ボルダリングなんかもそうだと思うんですが先程の病院の話等も踏まえて具体的なことが少しわかりました。

(副会長) もう一度確認なんですが、人件費関係のところでお伺いさせていただきますが、収支予算書の副責任者が年収 450 万円と記載されており、それが掛ける 2 になると、この収支予算書の数字が全て変わってくると思うのですが、それが半分の 225 万円と考えればいいのでしょうか。

(申請団体①) 総括責任者の給与の部分が、実際より高く設定しておりましたので、トータル 1,291 万 6 千円の中で、この 4 名を雇用するということです。

(副会長) では、総括責任者 1 名、副責任者 2 名、受付責任者 1 名の、割合は変わるがトータルでは変わらないということでしょうか。

(申請団体①) 契約社員の雇用等も考えておりますので、その辺の金額等もこの中に含まれております。

(副会長) 人材のところ、特に自主事業のサーキットトレーニング、マシンを置いてあるところは監視する訳ではないですが、使い方を間違ったり過度に使用したりするので、トレーナーの方はすごく重要だと思います。トレーナーの非常勤の方というのは、1,200 円のパートの中に入っているのですか。

(申請団体①) 入っています。ただ、弊社の教育システムをクリアしないとできないので、きっちりトレーニングの知識を持った者を配置しますし、これまで初回講習会を2ヶ月に2回しかやられてないのですが、トレーニングチーフを1名配置することによって、初回講習会を毎日できるようになります。そういう形も考えております。

(副会長) わかりました。

(会長) 委員の皆様、ご質問・ご意見ございませんか。よろしいですか。

(質問等なし)

(会長) それでは、プレゼンテーションを終了いたしますので、どうもありがとうございました。

(申請団体① 退室)

(会長) それでは、ここで、委員の皆様から事務局にご質問、または確認されたい事項がございましたら、お願いします。

(B委員) 事業計画書にはなかったのですが、先程プレゼンテーションでカーシェアリングということをおっしゃったんですが、基本的に、施設の利用を目的にした方のための専用駐車場ということで、一般の近所の人たちのためのカーシェアリングというのは基本的にはありませんか。

(事務局) はい。ありません。

(B委員) わかりました。

(会長) 他に確認されたい事項はございませんか。

(質問等なし)

(会長) それでは、準備がよければ、次の申請団体に移りたいと思います。申請団体の誘導をお願いします。

(申請団体② 入場・準備)

(事務局) それでは、ただいまから、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは、初めに団体名及びプレゼンテーションされる方のお名前を述べてから始めてください。

なお、プレゼンテーションの時間は10分間です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の10分になり次第、打ち切りとさせていただきますので、ご了承ください。

なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き、委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。

準備はよろしいでしょうか。それでは、始めてください。

(申請団体②の出席者、自己紹介)

(申請団体②) では、プレゼンテーションを始めさせていただきます。

まず、共同事業体についてご説明いたします。代表企業は東京2020オリンピック、パラリンピックのゴールドパートナーであり、様々なスポーツとアスリートを支え、全国各地で指定管理実績を持つ、アシックスジャパンが務めます。また、長年にわたり枚方市のスポーツを支え、伊加賀スポーツセンターの現管理者として地域に密着した事業展開で市民や利用者からも大きな信頼を得ている、公益財団法人枚方体育協会が構成団体として加わり、伊加賀スポーツコミュニティ共同体を組成いたします。なお、各社の経営方針等につきましては、確認事項一覧の1ページから5ページに記載のとおり、安定した経営基盤と類似施設の管理運営実績を有しております。

申請理由につきましては、確認事項一覧 2 ページをご覧ください。私たちは、本施設を中心に、地域スポーツの推進に貢献することで、一人でも多くの方が健康やスポーツに興味を持ち、枚方市が掲げる「誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち」の実現に寄与したいと考えています。これは、スポーツを通して夢や希望を与えたいと考える、アシックスの理念に共通する部分でもあります。また、枚方市で開催されている新春走ろう会では、30 年以上にわたりお付き合いをさせていただいている経緯もあり、枚方市のスポーツ振興により一層貢献したいと強く思っております。私たちが、本施設の管理者となることで、アシックスのブランドメッセージである「I MOVE ME (ワタシを動かせ。)」の精神に基づき、枚方市に新たな風を吹き込みたいと考えています。

特に、事業計画書の 5 ページにも記載しておりますが、本施設が枚方市内に複数ある施設の中でも、地域との連携が非常に密であり、地域に根付いた施設として市民に活用されていると認識しています。そのため、地域コミュニティの中核を担うこと、地域に根付いた管理運営を行うこと、地域の皆様との交流を大事にした管理運営を行うことで、施設の存在意義が一層高まり、その役割を果たすことができるものと考えております。

では、確認事項一覧 6 ページの施設の経営方針に関する事項についてご説明いたします。本施設を管理運営する上での基本理念を、「スポーツを通して人と地域を元気に」と設定し、1. 枚方市民のスポーツライフを全力でサポートします。2. スポーツを通じた交流を大切にします。3. 安全で安心・快適なスポーツ環境を整備します。の 3 つの基本方針を設定しました。各基本方針に対するアクションプランに関しましては、事業計画書 11 ページに詳細を記載しておりますので、改めてご確認ください。

では、確認事項一覧の 7 ページになります、施設運営に関する計画に入ります。利用料金の収入見込み額に関しましては、現状を分析した上で平成 31 年度の金額を設定し、さらに 5 年間で 5% 以上を達成する計画としております。指定管理料は上限内でご提案させていただきました。

施設の利用向上に関する計画につきましては、特に私たち共同事業体には、様々な競技のスポーツに精通したスタッフや、スポーツ科学やスポーツマネジメントの専門知識を有するスタッフが多数在籍しております。本施設にも専門知識を持つスタッフを配置するとともに、アシックススポーツ工学研究所とも連携し、スポーツに関する高い技術とノウハウ、そしてスポーツの持つ楽しさを市民の皆様にご提供したいと考えています。具体的には有資格者を配置したスポーツ相談室の設置や、一人で来館しても楽しめる個人共用 DAY の実施、対戦相手や練習仲間のマッチメイクをご提案します。また、特に地域の皆様との交流を大事にした管理運営を行っていきたいと考える本施設では、私たちが管理者であるからこそできる取組みとして、地域パトロールランニング隊を結成し、地域の安全保持に努める活動や、学校や市内の各種団体との連携事業など、市と相談のうえ進めていきたいと考えています。

私たちは、本施設が地域住民のコミュニティを形成する場となることはもちろん、枚方市内の各所への出張講座や市内のスポーツ推進活動など、市内各所においても様々な場面で私たちのノウハウをご活用いただきたいと考えております。

確認事項一覧の 8 ページから 18 ページに記載の、施設の管理及び法令関係に関しましては、アシックス本社のバックアップ体制をあおりながらマニュアルを整備し、枚方体育協会と共に適切に進めて参ります。また、アシックスにおいては、プライバシーマークを取得しており、危機管理につきましては、公共スポーツ施設のレジリエンス向上による地域防災力の強化が評価され、ジャパン・レジリエンス・アワード 2018 において最優秀レジリエンス賞を受賞しております。本施設においても、防犯や防災における体制の確立や、マニュアルの整備を実施し、自然災害や人員災害にも対応できるよう、繰り返しの訓練により緊急時の対応に備えます。

確認事項一覧 10 ページのスポーツ教室等のご提案につきましては、利用者への浸透度を考慮し、初年度につきましては、現状の教室を継続することが望ましいと考えています。

ただし、2年目以降につきましては、利用者のニーズを反映した新規事業にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。具体的には、アシックスの知見を生かした子どもや高齢者を対象としたプログラムの展開や、東京2020参画プログラムやトップアスリートとの交流企画についても、市と相談のうえ展開していきたいと考えております。

確認事項一覧の19ページをご覧ください。利用者サービスの維持・向上策について、ご説明いたします。私たちは常に創意工夫を凝らした新しい発想と提案を心がけ、全ての利用者に満足して頂けるサービスの提供を目指します。具体的には、新たなトレーニング室の運営とトレーニング室には極力スタッフを配置し、コミュニケーションを重視した運営と利用者にとって安全で効果的なトレーニングができる環境づくりに努めます。また、競技スポーツにつながる教室やイベントの実施ばかりではなく、スポーツを楽しむプロから本物の技を学ぶ機会として、世界チャンピオンから学ぶ「フリースタイルフットボール教室」やギネス記録保持者による「なわとび教室」を開催することで、多様な方々が継続的にスポーツを行うきっかけとなる機会をご提供していきたいと考えております。

こういった取り組みにより、施設利用者数の増加、更には枚方市内のアクティブスポーツ人口の増加、子どもたちの体力向上につながればと考えております。

最後に、広報活動に関する計画につきまして、確認事項一覧の20ページをご覧ください。

私たちは、一人でも多くの方に施設を利用していただけるよう、計画的に広報活動及び情報提供を行います。また、実際に施設を利用している利用者やスタッフの声が、新規利用に直結する強い影響力があるということ、類似施設の管理運営の中で学んできました。その経験を踏まえ、全スタッフのネットワークを活用しながら、人が人を呼ぶサイクルを構築しつつ、市民に広く情報を届けていきたいと考えています。また、施設内に設置予定のスポーツ情報コーナーには、東京2020関連のユニフォームを展示することで、枚方市民のオリンピック・パラリンピックに対する意識の向上、更にはスポーツに対する意識向上につながればと考えています。詳細につきましては、事業計画書の52ページに記載しておりますので、改めてご確認ください。

以上、私たちは本施設において、ソフト面、ハード面ともに更に上を目指した質の高いサービスを提供するとともに、地域の皆様との交流を大切に管理運営を行うことをお約束します。ぜひお任せください。以上でプレゼンを終了します。

**(会長)** ありがとうございます。それでは、私ども委員の方から、プレゼンテーションの内容や事業計画について、いくつか質問させていただきますので、よろしくお願いします。

委員の皆様、ご自由にどうぞ。

**(A委員)** 提案書の読み取り不足かも知れないんですが、施設の管理運営を行う上で、市民サービスとともに行政のコスト削減も大事だと思うのですが、コスト削減に対する取り組みをもう一度ご説明いただけますか。

**(申請団体②)** まず、一つが34ページになるんですが、直接的にコスト削減とタイトルには記載がないのですが、今回、体育館の照明器具のLED化のご提案をさせていただこうと考えております。これに伴いまして、電気代を削減するという計画で収支計画を立てております。

**(A委員)** わかりました。

**(B委員)** 施設経営方針に関する事項の、セルフモニタリング及び利用者等に対するアンケート実施についてというところで、年1回実施すると記載されているのですが、現指定管理者である枚方体育協会では年1回のアンケート等は行われているのでしょうか。

**(申請団体②)** 現在につきましても、年1回アンケートを実施しております。

**(B委員)** そうしましたら、利用者の方々からの反応、クレームや色々な問題点の指摘があると思いますが、どういう具体的な対応をされてきているのかお尋ねします。

**(申請団体②)** まず、利用者サービスに関しまして、職員の対応等についても当然ながら

調査を行わせていただいております。そういった中で、89 パーセントの方が満足、や満足という形で、一定ご意見をいただいております。こういったご意見があったというところになってくるのですが、まず、シャワールームの使い勝手で、カーテンがしっかり閉まらないので改善して欲しいというような、設備面でのご意見について、簡単にできるところに関しては、当然ながら迅速に対応をさせていただきます、非常に喜んでいただいているようなところがございます。あと特に、トレーニング講習会というトレーニング室を使うにあたっての、利用者の方のための講習会というのを一度受講いただくルールになってるのですが、その講習会も当初は平日に実施しておったのですが、土日もやって欲しいといったご意見をいただきましたので、そのあたりについても改善させていただきます、利用者の方も増えているという結果につながっております。

(B委員) スタッフに関するクレームはございませんか。

(申請団体②) アンケートの中でやや不満と答えられている方が1名おられました。そのご意見としては、やはり接客の対応があまり良くないとのことでしたので、それに関して研修や個別での話し合い等を通じまして改善をしてっております。

(B委員) そうしましたら、毎年満足度については改善も見られて、向上していると捉えてよろしいでしょうか。

(申請団体②) はい。そのように取り組んでおります。

(B委員) ありがとうございます。

(C委員) プレゼンありがとうございました。事業計画書 13 ページにも記載されているのですが、初年度は利用者の混乱を避けるために基本現状維持で、今後ニーズにより色々な展開をしていくということですが、現状、体協がやっておられる強みとして、逆に1年目でも変えられるのではないかと思うのですが、思い切って初年度から変えられないと決断をされたそのあたりの背景は何かありますか。

(申請団体②) 全体的に全てを変えないという訳ではなくて、もちろん今年もアンケートを実施していただいておりますので、その結果を元に、あとは教室の参加率、この辺りを考慮しまして、変えられるものに関しては変えていきたいと思っております。ただ、次年度4月からの準備になりますと、選定されてからの期間が非常に短かかったりすると、中々準備が間に合わないところもありますので、そうするとしっかり変えていくとは中々断定できないかなと思っております。業者の混乱が利用者のクレームにつながることもありますので、指定管理者にアシックスが加わることで色々な利用者から別の声も挙がって来るかも知れませんが、1年目に関しましてはそんなに大きなクレームであったり、マイナスが出ていない部分に関しましては、そのまま引き継ぎたいと基本的には考えています。

(C委員) おそらく、ご提案をいただいているような、朝活に関しては利用者にとってプラスになることだったら逆にそれは混乱にならないと思うのですが、事務所側が混乱することはあるかも知れませんが、そのあたりで選定する側としてはチャレンジしてほしいという気持ちがありますので、もちろん、混乱の無いレベルで利用者にとってプラスになるところは可能な範囲でご検討いただきたいというのが1点です。また、52 ページのところで広報のことを、多岐にわたって書いていただいているのですが、だいたいどこも今までやっておられたことと、色々な提案の中で多い内容だなと思っております。そんなに稼働率がかなり低いわけではないので新しい層を取り込むのは難しいかもしれないのですが、それでもまだ新しい層を取り込んでいただく余地はあると思うので、色々書いておられた中で、現状でやっていないことで新たにチャレンジしていくようなことがもしあれば補足をお願いします。

(申請団体②) そうですね。確かにどこでもやっていることなのですが、先程も少し説明をさせていただきましたとおり、比較的広いロビーが伊加賀にはあるのですが、そのあたりで東京オリンピックというのが非常に大きなイベントでありまして、私たちはそのゴールドパートナーの権利を持っておりますので、ユニフォームですとか普段さわれない、触れることのできない選手のユニフォームだったりシューズだったり、そういったものを展示すること

よって、子どもたちの夢を少し近づけるといった活動をしっかりやっていきたいと思います。それが直接的な利用者の増加につながるかということと中々難しいかも知れませんが、そこに行ったら本物に触れられるというきっかけ、本当にごく僅かな人に対してかも知れないですけども、きっかけ作りをしていきたいなと思っています。今も体協の方でアカウントを持ってやっている、SNS 関連に関しましても引き続き配信していきたいと思っています。

アシックスの色々なホームページに、当社が持つネットワークを活用してリンクさせることによって、今までとはもう少し広がった範囲で告知ができると認識しておりますので、枚方だけではなく広く告知はしていけるのかなと思っています。

(C委員) わかりました。

(申請団体②) 1点すいません。追加になるのですが、地域のコミュニティにつきましては、伊加賀小学校区、さだ西小学校区が地元にあります、その辺りの方につきましては、今回指定管理者をやらせていただいた5年間を通じまして、協力関係をようやく築けて参りましたので、その辺りの方に対して全戸回覧をする取り組みとか、あと更に地域包括支援センター、高齢者サポートセンターの拠点がございまして、そこの良好な関係ができていますので、そこを通じて更にピンポイントで取り組みをしていきたいと思っています。

(C委員) わかりました。今のご説明の後者のところで、ハードルが高い方もいらっしゃると思うので、採択された場合は今プレゼンいただいた内容をぜひ実行していただけたらと思います。

(副会長) 2点質問させていただきたいんですけども、私も枚方市民で、伊加賀スポーツセンターは利用したことがないんですけども、利用されている方に、駐車場が有料になったらどう思うか聞いてみたら、ちょっと場所的に歩いていくには厳しい場所だとお伺いしてまして、昼間はきっと乗り合いで車で行かれて、無料なのでゆっくりされてたと思うので、そこに関してはかなりの反響があると思います。料金設定はこちらに書いてあるとおりにされると思うんですけども、何か例えば、毎日来ている人には安くとか、そういう優遇措置みたいなのを考えておられるのでしょうか。

(申請団体②) 駐車場料金に関しましては、今回初めて変わるということになりますので、正直、私たちも全てが把握できていない訳ではありません。色々な情報収集の中で、今の段階ではこれが一番ベストではないかというご提案をさせていただいております。一旦は今後市の方と調整をしながら、市民の声も上がっているようですので、そのあたりも汲み取りながら、オープンまでには各内容を固めていきたいと思っています。有料化でスタートしますが、実際優遇措置に関しましても、利用者の声を汲み取って、対応できるものに関しては少しずつ改善をしていきたいと思っています。今回提案の中にほんの少しなんですけれど、駐車場が有料化になるので、少しでも軽減できたらと考えまして、個人利用の方が対象にはなるんですけど、14ページの個人共用利用回数券というのを発行し、2回分ほど回数券がお得になることで、少し負担を軽減できるのではないかと考えてはおります。

(副会長) ありがとうございます。あと、もう1点ですけど、収支予算書の人件費に関するところなんですけれども、受付スタッフが13名体制で、パート職員ということで書かれていて、(1)の10名と(2)の3名は、おそらく時間が長い人と短い人という意味だと思います。受付スタッフの方とトレーニング指導される方というのが、時給が変わってきたりするのかとも思いますが、この辺の職員の人件費の配分をどう決められるのかなと思ってお聞きしたいのですが。

(申請団体②) 基本的に、職員のパートの時給に関しましては、900円からとさせていただいております、それぞれの能力によって時給を決定していきます。資格を持っていたりトレーニングの指導ができたり、プログラムの指導をできる方に関しましては、別途支払うような形を検討しています。時間の長い、短いに関しましては、基本的に夜間のスタッフが少し短い時間で想定しております、昼間に関しましては、主婦の方ですと午前中だけという方もいらっしゃると思いますので、その辺は、来ていただく方の予定に合わせて、ある程度組み

換える予定をしていますが、基本的には9時間勤務の9時間コースと8時間勤務を取りたいと思っています。

(副会長) ありがとうございます。

(B委員) 伊加賀スポーツセンターは、かなり地域性が強い施設ではないかなと思うのですが、アシックスの強みである、トップアスリートを呼んでくるという事業とか、パブリックビューイングだとかそういう規模の大きいものなど、トップアスリートと接することはすごく大事だとは思いますが、その辺への関心はどうですか。体協で運営されていて利用者の皆さんはそういうことに対する関心を持たれていますか。利用者の反応はどうですか。

(申請団体②) そうですね。当然ながらビッグイベントがある時には、色々利用者の方とお話をさせていただく中でもまず、昨日卓球の何々さんすごかったよねっていう会話からご挨拶が始まったりもしますので、すごく利用者のニーズがあると思いますし、地域の方に関しましても、最近コミュニティ協議会の会合とかにたまに出させていただいたりするんですが、そういった中でも、やはりそういったものに期待をされるような発言を聞いたりもいたしますので、そこが我々のこれまでの弱みでもありましたので、そういったところを今回一緒にやらせていただくことで、強みに変わったのかなとは感じております。

(B委員) わかりました。

(申請団体②) そこに補足したいのですが、当社が指定管理者に入ると、どうしても競技性が強いというイメージが広がってしまいますので、先程も説明しましたように、フリースタイルフットボールですとか、縄跳びというような直接競技につながらないような種目でありながらもプロでやっている方と契約しております。イベントで教室をさせていただくんですけども、非常に沢山の子どもから高齢者まで、障害者の方も一緒になって楽しめるイベントになってます。実は大阪市の方で展開したんですけども、すごく人気があって、更にこういう種目のイベントというのは、バレーボールやります、卓球やりますというのは違って、その日だけではできない技を教えることによって、イベントから帰った後も継続的にお家であったり学校で引き続き、技を練習しようとするんですよ。そうするとスポーツを継続してやっていただく環境も広がっていきますので、そういった形で私たちも競技志向だけでなく、色々なことをやりますとアピールしながら進めています。

(B委員) 今まで以上に利用者の方の満足度が高められるということですね。ありがとうございました。

(会長) それでは質問も出尽くしましたので、これを持ちましてプレゼンテーションを終了いたします。どうもありがとうございました。

(申請団体② 退室)

(会長) それでは、ここで委員の皆様、事務局にご質問、または確認されたい事項等がありましたら、お願いします。

(「なし」の声)

(会長) よろしいですかね。それでは、ここで一旦約10分間、委員会を休憩したいと思いますので、今から10分後よろしくをお願いします。

(休憩)

(会長) それでは、委員会を再開します。準備がよければ、次の申請団体のプレゼンテーションを実施したいと思いますので、申請団体の誘導をお願いします。

(申請団体③ 入場・準備)

(事務局) よろしいでしょうか。それでは、ただいまから、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは、初めに団体名及びプレゼンテーションされる方のお名前を

述べてから始めてください。

なお、プレゼンテーションの時間は 10 分間です。終了 1 分前になりましたらベルでお知らせし、所定の 10 分になり次第、打ち切りとさせていただきますので、ご了承ください。

なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き、委員の皆様からの質問にお答えいただきます。

準備はよろしいでしょうか。それでは、始めてください。

(申請団体③の出席者、自己紹介)

(申請団体③) では、提出しております事業計画書に基づいてご説明させていただきます。確認事項の特にお伝えしたいことを中心に、時間の制約がありますので、ご了承ください。

まず 6 ページ、確認事項 1. の太字下線のところでございます。

当社の指定管理者の実績は、体育施設に加え、文化施設、貸館、公園と多種多様でございます。管理運営におきましては、多くの自治体の皆様から高い評価をいただいております。

当社は、利用者をお客様と考え、お客様ファーストのサービス、提案に努めております。当社の取り組みで、より多くの地域に貢献したいと考え、近年関西地方にも指定管理者施設を増大させているところでございます。

8 ページ、確認事項 2. の育児介護休業、また 26 にありますセクハラ防止にも関連しますが、職員のモチベーションの維持・向上のため、労務コンプライアンスを徹底しております。

- 1) 労働関連法令の遵守としまして、育児介護休業法等の各種法令の遵守。
- 2) 労務管理規程の各種整備。
- 3) ワーク・ライフバランスの各種社内制度を設けるとともに、
- 4) 「パワハラ・セクハラ 110 番」といった、ハラスメント対策も講じてございます。

確認事項 3. の申請理由として、太字下線のとおりに、関西地方は平成 27 年度から全部で 10 施設の指定管理者に指定されております。今回の公募は、利用料金制の導入、駐車場有料化といった受益者負担の考えなど、枚方市が民間活力や施設の長寿命化に対して高い意識をもっていらっしゃるかと拝察いたしまして、応募しました。

申請に当たりましては、下に記載しました枚方市の総合計画、10 ページの枚方市スポーツ推進計画、11 ページのスポーツ基本計画や、府のスポーツ推進計画を踏まえております。

12 ページでございます。確認事項 5. の財務状況等でございますが、①PL では 4 期連続の増収、中段②の BS、無借金経営、③経営指標では高い流動比率と自己資本比率をもっております。

右側 13 ページでございます。指定管理者の実績は、①全部で 60 物件、171 施設の実績がございます。種別は多種多様です。

確認事項 6. の体育館等の 3 年以上の実績を満たしております。

15 ページ、確認事項 7. の現状認識として、青字の 2) で市民のスポーツの実施状況等を踏まえております。

- ①の市民全体のスポーツ実施率は 37.6%、全国平均に比べて低くなっております。
- ②その実施率の年代別の状況を見ますと、20～50 歳代の働き世代が相対的に低い状況です。
- ③スポーツをしない理由を見ますと、仕事、家事、育児に忙しいが多くなっております。
- ④スポーツの実施の意向を見ますと、実施率の低い年代ほど始めたい、という考えでございます。
- ⑤スポーツのやりたい相手については、友人と家族と一人が多い状況でございます。
- ⑥子どもの体力等は、高水準だった昭和 60 年と比べるとまだまだ低い状況になります。
- ⑦としまして、市内のスポーツ少年団や体育協会加盟団体の状況は全体的に会員数が減少傾向にございます。

⑧施設の利用状況、稼働率が90%超の諸室が多いですが、トレーニング室は1日平均26人と改善の余地があると考えております。

こうした諸々の状況を踏まえまして、管理運営の基本方針を定めております。スポーツ振興、施設運営、維持管理、この3つを立て、全ての取り組みはこの方針に基づいて進めて参ります。

17 ページでございます。将来展望でございますが、現状を踏まえ、この後ご説明する取り組みによりまして、市民の健康増進と体力の向上という設置目的の達成に貢献して参ります。

また、成果目標といたしまして、諸室の稼働率、トレーニング室の利用者数、そしてお客様満足度を年度ごとに数値目標を設け取り組んで参ります。

18 ページです。スポーツ実施状況等を踏まえた企画・提案と書いております。特にお伝えしたい確認事項の9. 利用の向上、15. スポーツ教室、32. サービス向上、33. 広報活動をご説明させていただきます。

先程の現状分析を踏まえまして、トレーニング室の利用促進策、以下各種対策を講じてまいります。19 ページ、トレーニング室の充実といたしまして、ランニングマシンを1台増設いたします。20 ページ、青字の2) でトレーナーを1名配置します。これによりまして、①トレーニング講習会の改善として、回数を年20回から100回以上、曜日時間帯も柔軟に変更し、受講料もトレーニング室利用料のみとし、どなたでも参加しやすいようにいたします。

4) ポイントカードの導入など、間口を広げる取り組みと、継続したくなる取り組みを進めて参ります。

23 ページをご覧ください。こちらは、教室の提案でございます。まず、①既存教室でございますが、現在の参加者のスポーツ習慣化につながっておりますので、継続して開催をさせていただきます。②が新規教室案となります。子どもの体力低下を踏まえた、コーディネーショントレーニング、働き世代向けに、平日夜開催のリラックスヨガ、土日開催の体幹トレ、また、託児付きピラティスなどを実施します。

3) 施設の有効活用としまして、稼働率が高い状況を踏まえ、体育館のステージ等にパーティションを設置し、教室会場の一つとして提案させていただきます。

24 ページでございます。こちらは自主事業の提案です。1) のイベントとしまして、スポーツフェスティバルですが、家族や友人と気軽に参加できることを目的として、各種スポーツに加え、パン食い競争といったレクリエーションも行います。また、各種スポーツ団体の体験ブースを設けまして、きっかけの提供、会員増につなげてまいります。

グラウンドゴルフ大会ですが、運動広場の利用率の低い平日昼間を活用して開催いたします。

25 ページです。②として、スポーツ用品の貸出し、飲食物、サプリメントの販売、用具等の販売を行います。③として、各種スポーツ団体指導者育成のため、コーチングやコアコンディショニングといったセミナーを専門団体と協力して開催いたします。

広報 PR 活動でございます。自治体広報媒体の活用はもちろん、②オリジナル情報誌の発行や、④各種 SNS による情報発信、26 ページ、⑤報道機関へのプレスリリースなど行います。

また⑥として、直接企業等を訪問し、利用促進の営業活動を考えます。

最後 47 ページ、確認事項 30. の連絡体制ですが、1) 24 時間 365 日連絡可能な緊急ダイヤルを設置しており、職員には5分以内の報告を義務付けており、徹底しております。

②として、連絡フロー、記載のとおり夜間休日を問わず、必ず責任者を市に連絡報告する体制を敷いております。

以上駆け足ですが終了させていただきます。

(会長) ありがとうございます。それでは、委員の方からいくつか質問させていただきますので、よろしくお願ひします。

委員の皆様、ご自由にどうぞ。

(A委員) 2つほど。提案書の方で私が読み取れなかったのかも知れないのですが、行政コストの削減案を、具体的に教えてください。もう1点は、収支予算書の駐車場の利用料金の収入の計算なんですけれども、平成29年の駐車台数の実績が27,731台、単純に平日300円で計算すると、もう少し高い収入が望めるんじゃないかなと思うんですけれども、234万に試算された根拠をお願いします。

(申請団体③) コスト削減なんですけども、個別の項目を設けておりません。関連するものとして42ページ、環境に関する取り組みでございますけれども、その中の2)の電力使用としまして、電力自由化がありますので、今いくつか協力会社がございます、グリーン電力で金額が安いところを採用するよう検討します。駐車場でございますけれども、ここに計上した利用料金の金額なんですけども、駐車場はタイムズ24に委託するんですけれども、利用料金収入から委託費を引いたものをこちらに計上してございます。実際は売り上げ、年間1,100万ほどになります。

(A委員) それでは、施設の委託費に、このタイムズへの委託費が含まれてないと判断したらいいんですね。わかりました。ありがとうございます。

(C委員) 25ページでまず、広報媒体の件で京都市ホームページと記載がありますが、

(申請団体③) 記載ミスでございます。

(C委員) 比較的稼働率が現状まあまあ高いということで、今まだ伸びる余地のあるところを分析していただいているんですけれども、そのターゲットに一番マッチしている広報、要は、一番強化していきたい広報について、もう少し補足していただけますでしょうか。

(申請団体③) 先程ちょっとご説明しましたが、最も改善の可能性があると思っているのがトレーニング室だと考えております。1日平均26人なので、他施設の状況を見ると、まだまだ倍以上には伸ばせるのではないかと考えております。トレーニング室は基本的に一人でやるものなので、先程働き世代と申しましたけれども、そこを一番のターゲットにしております。

25ページ④SNS、フェイスブック、LINE、twitterもろもろによる情報発信と、26ページの⑥企業訪問と書きました。これは施設長が中心となって、各施設ですとか地域の団体を訪問して、こういう利用ができますよと話をするので、仕事帰りにいたり、この2つに力をいれます。

(C委員) あと1点、まだまだ限界があると思うんですけども、比較的稼働率が高い中で、17ページの成果目標のところの運動広場、特性上なかなかこの数字では難しいというご判断で他とは差別化されていますが、このあたりの取り組み方、広報の戦略はいかがでしょう。

(申請団体③) 色々資料を拝見しまして、土日はほぼいっぱい、平日の昼間少し空いている。利用状況でグラウンドゴルフをだいたい週4日やっています。平日昼間に施設を利用できる方は高齢者の方か、仕事をしていない主婦の方がターゲットになるので、グラウンドゴルフ以外で何かやっていただくにはちょっと難しいかなと思っています。ただ、例えばウォーキング教室をやるですとかは、可能だと思います。先程、グラウンドゴルフ大会はそれに付随して確実に人が集められる、空き時間が使えるということで、少しでも稼働率向上につながればと。

(C委員) はい。わかりました。

(B委員) 非常に管理運営の部分に対しては強いとお見受けしたんですけれども、逆にソフトの部分で、指導者をどう確保されようとしているのか、というところをお聞きます。

(申請団体③) 教室の指導者ということですか。

(B委員) はい。色々事業を展開されようとしていますが、どなたがそれを指導されるのか、というところをお聞きしたいと思います。

(申請団体③) 教室については、トレーナーを1名配置するので、その者が行うものが一部あるのですが、メインはいわゆる講師の方に講師契約を結んでやっていただく。既存の教室に

つきましては、できるだけ継続させていただきたいので、今の講師の方とお話させていただきたいと思います。新規のものにつきましては、地域の方に主導をお願いしたいというのが根本にありますので、各スポーツ団体と関係を作りまして講師をお願いしたいと思っています。また、それでは間に合わないですとか、できない可能性もありますが、今近隣の奈良ですとか京都の木津川の方で施設の管理運営を行っており、そちらで講師のネットワークが既に出来上がっておりますので、そこからご紹介いただく、来ていただくは可能です。

(B委員) そうしましたら、指導する人としての専任の職員の雇用はないのですか。

(申請団体③) トレーナーが1名です。

(B委員) わかりました。もう1点お聞きしたいんですけども、48ページのアドバイザーボードの設置というところで、非常にユニークなシステムだなと思うんですけども、実際川越の方でやられている実例が書かれてるのですが、これは例えばここに集まってこられる方というのは、本社が声を掛けて集められているのでしょうか。行政はそこまでからんでいないのですか。

(申請団体③) はい。

(B委員) このアドバイザーボードというのは、メンバーの方は有償なんですか。

(申請団体③) 謝礼金という形でお支払いしています。

(B委員) それは事業費の中に組み込まれていますか。

(申請団体③) はい。

(副会長) 自主事業の収支予算書を拝見したら、赤字になってしまっているんですけども、これは採算度外視で利用を促進すると提案されていると思うんですけど、全体的なバランスが大変なのかなと思います。あと、託児所付きピラティスは自主事業ではなく指定管理業務の収支に入れてらっしゃるようですが、参加料はどれぐらいで考えておられますか。結構託児所付きというのは魅力だなと思ったので、教えてください。あと御社は関東の方に本社がおありだと思うんですけども、関西の方にも事業所みたいなものがあるのか、緊急ダイヤルを設置とここで書いているんですけど、何かあったときに中々連絡が取れない、急いで駆けつけるのが難しい状態にあるのかとか、その辺をお聞かせいただけたらと思います。

(申請団体③) 教室の料金につきましては、教室によるんですけども、400円から高いもので700円でやっています。託児付きにつきましても、700円でやらせていただいています。教室全体でバランスを取っていますので、他の分でプラスになったものをそちらの経費に当てるとしております。自主事業のマイナスですけれど、これは先程ご説明した指導者向けのセミナー、これは無料でやらせていただこうと考えております。そちらで収支がマイナスになっているものと、スポーツフェスティバルはイベントとしては無料で参加できるものなので、そちらの収支がマイナスになっており、そこは必要な投資と考えておりますので、会社として厳しいということは全くありません。緊急対応についてですが、今京都に事業所を設置しておりますし、エリアマネージャーとサブマネージャーは常駐しております。事務ですとかもろもろ指導等をサポートしています。緊急対応につきましても、現地では一番大事なのは何かあった時に現場での初動が一番大事だと私たちは考えておりますので、施設長、統括も別にいますけども、指導教育をきっちりして、それをさらにスタッフにつなげて、スタッフの皆さんも責任者がいないとわからない、対応できないことはないようにしているので、緊急時も確実に対応できますし、駆けつけることはできます。

(会長) よろしいですかね。質問も出尽くしたようですので、プレゼンテーションはこれにて終了いたします。どうもありがとうございました。

(申請団体③) ありがとうございました。

(申請団体③ 退室)

(会長) それでは、ここで、また委員の皆様から事務局にご質問やご確認されたい事項が

ございましたら、お願いします。

(「なし」の声)

(会長) よろしいですかね。それでは、準備がよければ、次の申請団体に移りたいと思います。事務局で誘導をお願いします。

(申請団体④ 入場・準備)

(事務局) よろしいでしょうか。それでは、ただいまから、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは、初めに団体名及びプレゼンテーションされる方のお名前を述べてから始めてください。

なお、プレゼンテーションの時間は 10 分間です。終了 1 分前になりましたらベルでお知らせし、所定の 10 分になり次第、打ち切りとさせていただきますので、ご了承ください。

なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き、委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。

準備はよろしいでしょうか。それでは、始めてください。

(申請団体③の出席者、自己紹介)

(申請団体④) 確認事項は全て満たしておりますが、時間に限りがありますので、当グループがアピールする事項について説明させていただきます。それでは早速始めます。

提案書 1 ページ、確認事項 1、当グループは、スポーツの振興に長年携わり、スポーツ施設運営のリーディングカンパニーとして幼児から高齢者まで全世代の健康・運動に寄与する活動を積極的に行っています。

5 ページに移ります。確認事項 2、休業制度も充実しており、働き甲斐のある職場環境を実現しています。

6 ページに移ります。確認事項 3、当グループは、より良いスポーツ品とスポーツの振興を通じて社会に貢献するという経営理念のもと、スポーツの振興や健康増進に尽力しています。枚方市のスポーツ推進計画の基本理念や取組課題に対して、当グループが持つプログラムや運営能力を提供することで、課題解決の一助となると考え申請しました。

次のページ、お願いします。例えば 7 ページに記載のヘキサスロンは、ベトナムの初等義務教育でも採用された運動プログラムです。これは、市施策の方向である子どもがスポーツを楽しむための条件整備に対応できる、ミズノ独自のプログラムです。このように当グループは枚方市の抱える様々な課題解決に最も適したグループです。さらに地域団体と連携し相互に補完し合う事で、市民が生涯に渡ってスポーツに親しめる取り組みを推進します。

確認事項 4、5 は記載のとおりになります。

11 ページに移ります。確認事項 6、全国規模の運営実績を有しており、特に大阪府下では交野市をはじめ、43 のスポーツ施設を管理運営しております。本施設の類似の施設運営経験も豊富です。

12 ページに移ります。確認事項 7、本施設の稼働率、利用者数、アンケート結果など現状を徹底的に把握し、次のページに移ります、その解決策として、次の 3 点を実施していきます。①空きスペースを使った様々な自主事業を実施し、施設利用者数・件数を増やします。②利用者間や地域とのつながりを意識した施策により、施設利用者数・件数を増やします。③多様な職員研修の実施や当グループ本部のバックアップ機能を充実させます。

14 ページに移ります。当グループが本施設を管理運営することで、市民・地域団体が集い賑わう健康増進コミュニティ施設を本施設の将来展望といたします。これに際して 35 年度の施設の利用者数を 140,000 人、利用件数 11,800 件を目標とします。また、利用者満足度調査で 85%以上を目標に取り組んでいきます。

15 ページに移ります。確認事項 8、計画的に利用料収入や自主事業収入、駐車場収入を計算し、更に事業所税納付を含め事業収支を算出しており、適正な額としております。

16 ページに移ります。確認事項 9、10、健康増進スポーツコミュニティ施設の実現を総合方針とし、3つの基本方針を定めました。具体的な施策としましては、多世代・多種目の新たな利用者サービス提供事業の実施、利用の多いトレーニングルームのサービス向上、次のページに移ります、軽微な修繕の即時対応に取り組んでいきます。施設利用料金については、上限で設定します。ただし、稼働率の低い日曜夜間は料金を半額に設定し、利用しやすくします。駐車場の料金は、満車率の高い土日の料金を 500 円に設定し、乗り合わせ来館を促進します。

確認事項 11 は、記載のとおりです。

20 ページに移ります。確認事項 12、接遇能力向上のための様々な研修を体系的に学んでいくようにしています。

21 ページに移ります。確認事項 13、14、トラブル対応、利用者の安全、秩序維持には適切な対応フローを作成し、職員が施設巡回を行います。

22 ページに移ります。確認事項 15、自主事業を世代ごとや目的など 6つの体系別に計画しており、一般利用とのバランスに考慮して提案しています。確認事項 16 は記載のとおりです。

30 ページに移ります。確認事項 17、18、関係法令及び枚方市条例、規則を遵守し、管理体制を定め、維持管理年間スケジュールを作成して確実に実施していきます。

32 ページに移ります。また、利用者に安全で快適な環境を提供するため、リスクマネジメントデータベースを元に、本施設で起こりうるリスクを事前に把握、リスクマネジメントマップを作成し、トラブルの未然予防に努めます。

33 ページに移ります。確認事項 19、職員の配置は仕様書の定める基準を満たし、適正なサービスが提供できる体制で管理運営を行います。

34 ページに移ります。確認事項 21、総括責任者を備品管理の責任者とし、所在管理はもちろん、経年劣化し利用できなくなったものの破棄や、利用者に貸し出す備品のチェックをし、安全に配慮した管理を実施します。特に、本施設のメンテナンスについては、修繕できずに長期間放置しているなど利用者アンケートからも意見がありました。当グループは軽微な修繕であれば 10 日以内に対応し、サービス向上に努めます。

確認事項 20、22、23、24 は、記載のとおりになります。

37 ページに移ります。確認事項 25、26、ダイバーシティの考え方をを用いて、人権研修を行います。また、コンプライアンス研修を実施、セクシャルハラスメントを防止するだけでなく、内部通報制度を運用し、問題の早期発見と適切な対応を行います。

確認事項 27、28 は記載のとおりになります。

43 ページに移ります。確認事項 29、本施設独自の危機管理マニュアルを作成し、日常点検と施設巡回の徹底、防災訓練・研修を実施します。

44 ページに移ります。確認事項 30、総括責任者を中心とした、危機管理体制を構築し、枚方市及び関連機関と連携します。また、市との連絡体制ルールを明確化し、かならず連絡が取れる体制にします。ちなみに、ファシリティコントロール室室長は枚方市在住ですので、緊急時も柔軟に対応します。

45 ページに移ります。確認事項 31、リスク分担において、想定にない事情が生じた場合は、市と協議します。

46 ページに移ります。確認事項 32、まずトレーニングルームのサービスを向上させます。  
1、施設設備の迅速対応サービス。2、トレーナーコアタイムを設定し、有資格者が利用者へトレーニングのアドバイスをします。3、トレーニング講習会の増枠。4、無料のトレーニングルーム提供。

48 ページに移ります。駐車場運営については、タイムズ 24 株式会社に業務委託します。

要求仕様を満たす高品質な駐車場運営を実現するとともに、同社のカーシェアリングを導入します。

51 ページに移ります。ヒトを繋げるサービス向上策として、利用団体紹介サービスや、個人開放事業、スポーツを介した交流イベントを実施、地域交流を活性化するサービスを提供します。

確認事項 33 は記載のとおりです。

最後に、伊加賀スポーツセンターの管理運営は、ぜひミズノグループへお任せください。

本日は、どうもありがとうございました。

(会長) はい。ありがとうございました。それでは、私ども委員の方から、いくつか質問させていただきますのでお願いします。委員の皆様お願いします。

(B委員) それでは一つお聞きしたいんですけども、14 ページで施設管理運営の目標数値を出されていて、その中で大体育室の利用者数目標が 51,500 人から 59,000 人という数字が出ておりますけども、これは例えば大体育室を今 2 つに分割して貸し出しているのを、4 分割にしたりという利用促進の提案が出てるんですけども、体育室 1 とか 2 の利用促進のための手立てというのはこの後出てくる提案のどれに当たりますか。どういうところで体育室 1、2、多目的室の利用を、増やそうとお考えですか。

(申請団体④) はい、具体的には体育室 1、2、特に体育室 2 の柔道場になっている部分なんですけども、こちらの稼働率がまだ低いということで、自主事業の実施、特にヨガであるとかピラティス系の寝転がってできるようなものの自主事業の開催を中心にしていく計画をしております。実例で、吹田市の施設の指定管理をさせていただいているんですが、畳の部屋はどうしても稼働率が低いということで、ヨガ教室、ピラティス教室を開催させていただいて、利用者の方が増えている実績はあります。

(B委員) 大体育室は、51,500 人から 59,000 人ということで、約 7,500 人の増を見込まれているんですけど、これは先程申し上げました大体育室の分割である程度この数字が見込まれるということでしょうか。

(申請団体④) 分割というのは、こちらからのご提案で、市と協議して決めないといけないことかと思っておりますので、それも念頭に置いているんですけども、それ以外に、今既存で利用している団体の利用者数を増やすアプローチをしていこうということで、稼働率も非常に高い中でも利用者数を増やす策として、利用団体当たりの人数を増やしていくという取り組みを私どもも一緒にやっていきます。

(B委員) 今、子どもの数も減ったりとか、色んなところでどんどんスポーツ人口が減ってきているところがあるので、それを掘り起こしていくのにミズノスポーツとして協力していくということでしょうか。

(申請団体④) はい。

(A委員) よろしいですか。非常に魅力的なプログラムとか事業展開だなと思ってすごく感心してるんですけども、例えば 23 ページとか 25、26 ページで、それぞれの事業について受講料ごとの値段設定があって、1 回 1,000 円、1 回 600 円という設定があるんですけど、これは、年に例えば 10 回やりますよというシリーズ物じゃなくて、たまたま来て 1 回参加してもいいですよという形の設定ですか。

(申請団体④) そうです。

(A委員) ではアナウンスもそういうふうにするのですか。

(申請団体④) 例えば 23 ページに記載されていますものに関してはイベントという形で開催しますので、こちらの方は 1 回ぽっと入っていただけるようなプログラムになっております。それ以外のスクール関係に関しては、1 クールごとの参加という形で料金をいただくことを計画しております。

(A委員) 教室展開によってそういう様々な設定を考えておられて、1 回行って 1,000 円と

か 600 円で参加できるイベント計画もありますよということですか。

(申請団体④) そうですね。なるべく参加していただきやすいように。

(A委員) ありがとうございます。

(C委員) ご提案ありがとうございます。元々稼働率が比較的高い施設なので、あまり広報しすぎると今度満杯になってしまうという難しいところもあるんですが、ご提案の 51 ページのところ、一人から参加できる個人開放事業ということで、ご提案いただいているんですけども、新たな層に参加していただくという点ではとてもおもしろい取り組みだとは思いますが。例えば、グラウンド、広場に関しては一番稼働率が低いので、特に昼間はご尽力いただきたいと思っているんですけども、例えば水曜日の 8 時から 12 時に個人で利用できる新規事業のご提案なんですけど、今既存の団体が使われている場合は、その団体にこの曜日・時間はご遠慮いただいて、ここは個人で利用する枠考えということではよろしいでしょうか。

(申請団体④) こちらの方は毎週水曜日、現在使われている団体がいらっしゃるのであれば、他の曜日がもし空いているようであれば、そちらの曜日で個人の新規事業をさせていただくという形になると思います。

(C委員) 団体が毎日使っているかよく分からないんですけども、そのあたりは調べられていない状況ですか。

(申請団体④) そうですね。既存の団体が定期的に使われているところに関しては、既存の団体を優先しながら、空いているところを有効に使っていきたくて考えております。

(C委員) そうですね、ちょっと水曜日と決め打ちなので、既に調べておられて使っておられないという状況ならいいんですけど、中々地域性も特徴のあるところなので、あまり特定のところだけが使ってるのもよくないんですけど、急にがらっと変わるのも、ちょっと抵抗あるかも知れないので、その辺は調整いただけるということではよろしいでしょうか。

(申請団体④) 自主事業に関しては今行っている事業、それから利用されている団体を優先というか、念頭に考えながら調整していくという方向で考える計画にしています。

(C委員) その上で、例えばお一人で来られて、人数が少なかったら一人でひたすら打つってこともあるかもしれないんですけど、このあたりの仕掛けというか、あと広報等も含めて新たな新規事業なので、フォローというかも少し補足説明をお願いできますか。

(申請団体④) まず開放事業の場合、もし一人で来られて相手がいないとなった場合には、職員が対応する等の対応をしたいと思います。その上に書いております利用団体紹介サービスというのが今回の提案の大切な部分になっておりまして、スポーツをやりたいんだけど一人じゃできないとか、団体を紹介してもらえませんかといった問い合わせが市の担当課や施設の方にあったりということを知っていますので、もっとスムーズに一人で来られてもどこかの団体を紹介させていただけるような、アットホームになれるような取り組みをしていきたいと思っています。

(C委員) おもしろい取り組みだと思うんですね。団体に今更入れない、でもやりたい、でもそのきっかけがないという方もいますので、すごくおもしろいと思いますけど、指定管理者が変わるときに既存の利用者にはあまり混乱を来さないようにしていただきつつ、でも既存の方に手厚くしすぎると新しい方が入ってこれないということがあるので、新しいチャレンジ、日曜日の夜間半額なども含めて、もし指定された場合にはそのあたりも配慮していただきたいと思っています。新しいことが多分思い通りにいかない場合があるので、職員を配置してくださると仰ったんですけど、それによってどこかが手薄になるというのは困りますので、そのあたりをサポートしていただくということではよろしいでしょうか。

(申請団体④) はい。

(C委員) ありがとうございます。

(副会長) 先程質問されたものと重なるかも知れないんですけども、自主事業がすごく細かく収支予算書にも計上されていてとても分かりやすいんですけども、空きとの兼ね合いでこの事業が全部この金額どおりにできるかどうかははっきりわかりませんが、自主事業の

収益を指定管理業務の収入に計上されているので、ここの如何によっても指定管理業務の収支で厳しくなってくるところがあるのかなと思っています。例えばこの自主事業の中で、他施設でこれはすごく受けがいいんだよとか、ぜひこれだけはやってみたいとか、あと利用率がこれはすごく高いのでやってみたいとかあれば教えてください。

(申請団体④) 近隣の施設であれば吹田市、交野市もあるのですが、吹田市も非常に稼働率が高い体育館になっております。枚方市も 90%を超えていて、吹田市もそれぐらい稼働率が高いんですね。中々体育館の中で自主事業をするのは難しいというのが非常にありまして、吹田市ではノルディックウォーキングを今進めています。体育館の中で講義をして外に歩いて行く、ストックを使いながらという形で外に出て行く、外でやる自主事業がかなり増えてきている状況です。私たちはノルディックポールを吹田市の方に 330 本寄贈させていただきまして、吹田市の行政と一緒にやっていくという形でノルディックを広げていってるので、そのあたり人口が増えてきているのかなというところで、成功事例の一例ではあります。

(副会長) ありがとうございます。

(会長) よろしいですかね。それでは質問も出尽くしましたので、これにてプレゼンテーションを終了いたします。どうもありがとうございました。

(申請団体④ 退室)

(会長) それでは、ここで、委員の皆様から事務局にご質問、または確認されたい事項がありましたら、お願いします。

(「なし」の声)

#### 案件(2) 採点について

(会長) よろしいですかね。それでは、次に移ります。案件(2)「採点について」を議題とします。事務局から、説明をお願いします。

(事務局) それでは、ご説明します。採点の基本的な考え方につきましては、委員会冒頭でお伝えいたしましたとおり、確認事項および加点事項について、A評価からE評価で採点いただくものでございます。

採点に当たり、必要がございましたら、大変お荷物になるかと存じますが、採点表、評価コメントとともに関係資料をお持ち帰りいただくか、私ども事務局から郵送させていただければと考えております。

また、それぞれの申請団体について、ご評価いただいた採点表、評価コメントにつきましては、メールにて返信いただきたいと存じます。採点表、評価コメントのデータにつきましては、本日の会議終了後、各委員あてにデータを送付いたします。また、返信期限につきましては、事務処理手続きの都合上、10月22日(月)中には届きますようお願いいたします。

また、本日、申請資料一式をお持ち帰り、または郵送させていただいた場合につきましては、大変お手数ですが、次回、10月23日(火)の委員会の際、ご持参いただくか、次回委員会前日の10月22日(月)までに事務局に届きますよう、郵送いただければと思います。

なお、お送りいただいた採点表、評価コメントにつきましては、事務局で取りまとめを行い、11月5日の選定委員会におきまして、採点結果の集計、また、委員の皆さまの評価コメントを取りまとめた案として、ご提示させていただきたいと考えております。

以上でございます。

(会長) ただいまの説明に対して、委員の皆さんからご質問、ご意見ございませんか。

(「なし」の声)

#### 案件(3) その他について

(会長) よろしいですかね。続きまして、案件(3)その他について、事務局から何かあり

ますか。

**(事務局)** 次回の委員会につきましては、枚方市立市民体育館のプレゼンテーションを10月23日、火曜日の午後6時から、市役所別館4階、特別会議室で開催いただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

事務局からは、以上でございます。

**(会長)** 以上で、本日の日程はすべて終了しました。よって、第3回枚方市立伊加賀スポーツセンター教育委員会指定管理者選定委員会を閉会します。

どうもありがとうございました。

(閉会 午後8時00分)